

# 報新子

東京 日六廿月九年七十治明

日曜日

第七百七十三號

日曜日休刊

定價 三金

## 公報

**○太政官第七拾七號**  
本年(一月)第三號選官吏非職條例中左ノ通過加條條此旨相違候事  
官省院廳府縣

明治十七年九月二十五日 太政大臣 三條實美  
第七條 非職員ハ特ニ本局長官ノ許可ヲ得テ地方病院學校及農工商陸海運輸會社ノ業務ニ從事シ其役員ト爲ルコトヲ得

本局長官ハ其非職員ノ勅任官ニ係ルモノハ上載ニ依リ奏任官ニ係ルモノハ太政大臣ノ認可ヲ得テ之ヲ許可ス

第八條 非職中第七條ノ業務ニ從事シ其給料ヲ受ルノ時間ハ第五條ノ條給ヲ支給セス

○內務省告示甲第貳拾五號  
清國厦門牛莊ヨリ來ル船隻ニ對シ其船員積荷三港ニ於テ十五年第三拾壹號布告船檢査規則實施爲致候旨去ル八月廿七日甲第貳拾三號ヲ以テ及告示置候處同地虎列刺病流行終熄候ニ付該規則施行停止候條此告示候事  
明治十七年九月二十五日 內務卿 山縣有朋

**敘任**  
○明治十七年九月廿四日  
兼任東京大學教授 編修局長官從五位勳六等 重野安釋  
兼任巡查總長 一等警視廳役步兵少佐 勳四等 安立利綱

## 時事新報

### 佛清執レカ是耶非耶

歐洲各國ノ人民ハ最初ヨリ人種ヲ共ニ宗教ヲ共ニ政治法律風俗習慣等モ大半同一ニシテ加フルニ近來蒸氣電氣ノ用テ非常ニ發達セシメテ各國ノ交通ハ大ニ其便利ヲ増シ隨テ一國ト他國トノ關係モ次第ニ親密ニ近キ幾多ノ列國ハ漸ク集合シテ一大家族ヲ成シタルノ勢アレハ平常無事ノ日ニ於テ國々ノ交際ニ偏頗不正ノ所行少キハ勿論一朝其間ニ變亂ヲ開キテ互ニ干戈ヲ以テ曲直ヲ爭フニ至ルコトアルモ其爭論ノ發端ヲ尋スレバ双方共ニ多少道理上ノ申分アリテ其一方ガ他ノ一方ニ對シテ全ク無罪非道ナル申出チ爲スガ如キハ今日ニ於テ極メテ少ク且ツ既ニ兵ヲ交ルニ至リテ交戦兩國ノ人民ハ仇同トハ云フモノノ互ニ同類ノ感ヲ爲シ兵戈ヲ執テ雄雌ヲ爭フ中ニモ幾分力ヲ互ニ盡スル所アリテ敵國ナリトテ敢テ法外ノ取扱ヲ爲スコト少キヤ似たりト雖モ其歐洲人ガ自家ヲ去テ外ニ對スルノ關係ヲ察スルハ大ニ内ノ事情ニ異ナル所ノモノアルヲ發見ス可シ尤モ平時ニ於テハ東西ノ交際ニ一種變則ノ關係ナルモノ左マデ世間ノ耳目ニ觸ル、コトナシト雖モ一旦其交際ニ阻隔ヲ生スルモノハ平生生離死別ノ世上ニ暴露セザルモノモ忽チ正体ヲ現ハシテ往々世ハ驚カシムルコトアリ今回ノ佛清事件ノ如キハ其最モ著明ナル者ナリト謂フ可シ

要領ヲ要領リ充分ニ東京地方ヲ征服シタル後清國ニ向ヒテ清國ガ故ナク黑旗兵ヲ援ケテ佛軍ニ抵抗シタルノ罪ヲ責メ六百万磅ノ償金ヲ拂フベシトノ掛合ニ及ビタルニ如何ナル次第ナリシカ其後天津ノ條約ニ於テ償金ノ一事ハ立消ノ姿トナリテ共佛國ハ此條約ニ依リテ安南全土ノ管理權ト支那三省ノ通商權ヲ得テ充分ナル勝利ヲ収メタルニ引替ヘ清國ハ南邊ノ關門ヲ失ヒタル上ニ獨立國ノ体面ヲ毀損シテ前後非常ノ損失ヲ受ケテ斯ク始メテ平和ノ局ヲ結ビタリ之ヲ東京事件ノ概略トス我輩局外ヨリ公律ノ眼ヲ以テ之ヲ評スレバ清國ガ自國ノ崩壞セントスルヲ維持スルノ氣力モナク徒ニ虛威ヲ顯シテ他人ニ傲リ自ラ求メテ不利益ヲ不面自取リタルハ片腹痛クモ又笑止千萬ノ次第アリトハ云ヘ佛國モ亦充分ナル道理アリト思ハレバ其次第ハ元來安南ハ清國ノ有コアラズ又佛國ノ有コモアラズ則チ獨立ノ姿ナル國柄ナレバ清國ガ安南ニ對シテ管理權ヲ有セザル程ニ佛國モ亦之ニ對シテ保護權ヲ有スルノ謂アル可ラズ即チ佛清兩國ノ申分ハ正ニ五分々々ナリト謂フ可ク然ルニ佛國ガ遂ニ此五分々々ノ道理ヲ有スル事ニ於テ勝利ヲ得タル所以ハ唯其力清國ヨリモ強スナレノ一事ニ因ルモノナレバ我輩ハ道理上ヨリテ佛國ニ何カ名義ヲモ與フルコト能ハズ強ヒテ之ヲ名義ヲ附與セント欲セバ佛國ハ清國ヨリモ強大ナリト名義ヲ呈センノミ右ノ次第アレバ佛清兩國ノ交際ニ於テ我輩ハ佛國ニ充分ノ道理アリト認ムルコト能ハザレモ角ニ初度ノ交渉ハ佛國ト安南トノ間ニ起リタル事柄ヲ清國ガ權利ヨリ手ヲ出シテ妨害シタリト云ヘハ辛ウツテ佛國ニ道理アルガ如クナレハ此申分トモ唯異洋ノ清國ニ對シテ道理ヲ出シ出スノ力アルノミヨシテ歐洲文明諸國ノ間ニ通用スベキモノニアラザルナリ

右ニ述フル如ク佛清兩國ノ交渉ニ於テ其間ニ歐洲自家ニハ行ハレ難キ一種ノ變例アリト疑テ容レズ然ルニ之ニ次々今日ノ事件ヲ惹起シタル第二ノ交渉ハ如何ト云フコト又方ノ爭點ハ清國ガ東京境内ノ兵ヲ引揚ルノ期日ニ在ルモノ、如ク今此一點ニ付テ雙方ノ言爭フ所ヲ聞クニ清國ハ此爭ノ由ハ全ク佛國ニ在リト云ヒ其首章ニハ初メ李鴻章ガ天津ニ於テ佛國總領事ニ「ユエー」ト五箇條ノ條約ヲ議定シタル後「ユエー」ハ私ニ李鴻章ヲ訪ヒ前ニ議定セタル條約ノ文書撰定、文義説明及び其施行ノ手續等ニ關シテ自ラ起草シタル條約書、草案ヲ李鴻章ニ示セテ其記名ヲ求メタルニ李鴻章ハ其中東京開港ノ期日ニ關シテ「ユエー」ハ李鴻章ノ面前ニ石筆ヲ採リ出シ其一欸ヲ抹殺セシメ馬建忠ニ在リ「ユエー」ヲシテ更ニ其抹殺セタル所ニ記名セシメテ「ユエー」ニ付キヤハ別ニ兩國ノ間ニ何等ノ條約定マレト云ヒ佛國「石石ノ條約」ニ對シ「何カ條約定マレト云フ」ナラズ清國皇帝

### 佛清事件

○上海香港電報 此程清國上海にて風説盛なりし佛兵金皮砲撃の事に關し左に掲げたる一昨廿四日上海報の電報昨日東京の或方へ到達したり該報に依れば金皮砲撃は全く無根の事なるが左るにても過日來續々報道ありたる斯の事件にして唯上海のみ喧傳せる無根風説とも思はれぬ今日上海の有様此の如く風説盛なりしに於て其詳細を知るべしは其の如く  
九月廿四日午後九時四十五分上海電報  
佛兵金皮砲撃セリトノ報告ハ全く無根ノ説ナリ  
○吳淞填塞一件ハ轉告 上海各國領事の異議ハ因リ具他河

此條約ヲ是認シタル勅命モアレハ固ヨリ正當ノ條約ニシテ抹殺云々ハ全ク清廷ノ虛構ニ出タル妄說ナリ然ルニ清國ハ此條約ニ從ヒテ東京屯駐ノ兵ヲ引揚ケズ利ヘ佛軍ノ進路ニ伏シ設ケテ佛兵ヲ襲殺セタルハ即チ明ニ條約ヲ破リタルモノナレバ之ニ對シテ五千萬磅ノ償金ヲ指田スベシト云ヒ雙方互ニ首謀リテ遂ニ今日ノ有様ニ立至リタリ是レ佛清第二ノ交渉ノ概略ナリ我輩ハ佛清兩國ノ申分孰レガ正シキカ知ラズト雖モ大切ナル條約書ヲ偽ナリト云ヒ異ナリト云ヒ消シタリト云ヒ消サスト云フガ如キハ殆ド小兒ノ争ニ似テ法外千萬ノ事ト云フ可シ往時西班才國ガ呂宋ヲ略奪セタル最初中牛皮大ノ地面ヲ借用セタリトノ旨ヲ呂宋王ヨリマテレバ呂宋王ハ異議ナク之ヲ許シタルニ西班牙ハ八驍ヲ牛皮ヲ糸ノ如ク細裁シテ數里ノ地ヲ經之ニ城ヲ築キヨリトノ奇談アリ事ノ信偽ハ我輩ノ知ラザル所ナレ共今佛清ノ事ニ付キ偶然ニモ右ノ珍談ヲ思ヒ出シテ其事ノ太相類スルチ怪シムナリ斯レ珍談モ往日ニ在リテハ通例國々ノ間ニ行ハレタレ上ノ非難ヲ受ケザルコトモアリナレベケレモ今日ノ文明世界ニハ聊カ不似合ナル珍談ト云ハザルヲ得ズ然ルニ此珍談ガ目下佛清兩國ノ間ニ現ハレ出タルハ支那人ガ愚シキ自カラズ法律外千萬ナル虛構ヲ撰ヘタルモノカ或ハ佛人ガ清國ヲ選スルニ西洋數百年前ノ舊案法ヲ案テズシテ其マ、ニ其無理ヲ働クニ因ルモノカ我輩ハ其原因ヲ就レバ在ルチ知ラズ之ヲ知ラザレバ兩國ノ孰レモ左袒スルコト爲サズト雖モ鬼ノ角今日我咫尺ノ隣國ニスル不体面トナレバ東洋ノ西洋トノ間ニハ歐洲各國ノ間柄ナリハ可ラザル一種無類ノ關係アルノ明証ナレバ我輩ハ唯其事柄ヲ純然シテ純洋ノ西洋國トナラザルベカラズト論スルモ畢竟西洋人ノ爲メニ一概ニ東洋視セラレテ支那ト同一ナル取扱ヲ受ケンコトヲ恐ル、ガ爲メニ

口の横溝は  
の電報に據  
が右に就き  
香港より  
上海道台  
ノ異議文  
ハ小電  
然ルニ例  
通路ヲ開  
兩岸ニ警  
警報ヲ受  
「ナカレ  
○恭親王  
け居りしが  
れり或は僅  
て樂と爲  
ゆるも及け  
○バナー  
くべき旨を  
之近頃の  
前の總領  
代理某氏  
逗留せり  
○張之洞の  
一人にし  
と紛議あり  
が今回佛  
同氏ハ常  
論せる由  
代議を採  
其人民に  
杯は是れ  
るものあり  
○佛軍の  
の意之初  
專ら福州  
懸賞する  
安りと云  
したれば  
意なきん  
大取ある  
○英國水  
國軍艦が  
しガ爾經  
り上海へ